

第41号

酪農とちぎ



師走

例年より遅く訪れた紅葉も終わり、山間の雪が冬の到来を告げています。今年の冬も暖冬が予想され、例年より気温は高く降水量は多いと見込まれています。それにより高湿度の降雪が予想され、農業施設の倒壊などが懸念されていますのでご注意ください。

冬季の乳製品消費拡大については、組合員の皆様のご協力を頂き、関東生乳販売からの目標を達成することが出来ました。誠に有り難う御座います。また、年末年始の哺育事業に関しましては、ご理解ご協力を重ねてお願い致します。

師走に入り、飲酒等の機会が多くなりますが、体調管理と交通ルールを遵守し、ご家族でよい年をお迎え下さい。



海外研修レポート

ヨーロッパ酪農視察に参加して

全国酪農協会主催による視察研修会（九月七日～十五日）に、酪農協職員・酪農後継者の計十九名が参加し、スイス・ドイツ・フランスの三方国の酪農を視察して参りました。この研修は、広く海外の酪農経営などを見聞し、将来地域酪農の中核者・指導者として幅広く活躍する人材を育成することを目的としています。

スイスでは、エメンタールチーズの工場を視察し、また山岳酪農を見ながら登山列車で高度三、四五四mのユングフラウヨッホを見学しました。ドイツでは、酪農家に宿泊しながらバイオガス施設やオーガニック牧場、農業機械銀行、酪農農業研修センター等を視察しました。

酪農というものは乳牛を産乳と産肉の一次産業的利用だけでなく、

乳製品加工等の二次産業的活用からレストラン・農業体験・教育・交流等の三次産業的活用まで、様々な資源を組み合わせた経営ができることが大きな特徴であり、また魅力でもあります。これらの総合的な産業化を統括する組織体が

地域にできれば、牛の資源と環境資源を組み合わせる最大限に活用することができ、地域で人材が育ち、地域で活躍できる仕事が増え、それが地域社会の活性化につながるものと思います。今回視察した国とその地域、そこで暮らす酪農家やその関係者から、このような



ことを考えさせられ、また私もその一員であることを再認識した視察でした。（内田 利美）

第二十六回

米国視察研修会に参加して

全酪連・粗飼料事業推進研究会主催による、米国視察研修会（九月四日～十四日）に参加し、酪農家・粗飼料の生産状況及び管理状況を視察して参りました。

ウイスコンシン洲マディソンから始まった酪農家視察では、暑熱と蹄病対策のため、フリーストールでも放牧は必要という理念を持ち、日中は広大な放牧場に放牧している農場や、自給飼料・自家育成で四百八十頭の搾乳牛を持ち、一日三回の搾乳と約半月にホルモン剤投与（BST注射・乳量約十五%増）を行い、牧場全体の徹底的なコストダウン、省力化に取り組んでいる事が印象的でした。

次に、視察の主目的である粗飼料の生産及び管理状況の確認を行い、コロンビアベースンのチモン

ーは、単収減・ホースグレードの増加とブルーグラスの混入によって、酪農家向けの供給はタイトとなっている。また、アルファルファは、初期の収穫は雨で壊滅的でしたが、後期の収穫は順調で品質は良好でした。カルファルニアスーダンはグレードが多く希望の品物は揃えやすい印象を受けました。しかし、本組合に入る物は品質のばらつきがあるので、メーカー及びサプライヤーに要請し改善を図る必要性を痛感しました。

今回の研修で粗飼料の栽培・管理状況を間近に見られたことや、米国の慣習や文化を経験したことを、今後の業務や生活に生かしたいと思えます。（伊藤 明男）



第十四回

関東地区ホルスタイン共進会(千葉県) 盛会裡に終了

関東地区ホルスタイン共進会が、十一月十五日から二日間の日程で、関東ホルスタイン改良協議会の主催により開催されました。千葉県家畜市場を会場に、本県をはじめ関東一都六県の代表牛九十六頭の出品と、多くの参観者が見守る中、未經産の部名譽賞に那須塩原市の高塩久氏・経産の部名譽賞に小針勤氏の出品牛が選ばれ、農林水産大臣賞を受賞しました。また、準名譽賞に矢板市の山本訓氏が農林水産省生産局長賞を受賞されました。

この共進会は、二年毎に各県持ち回りで開催されており、わが国のホルスタイン種の改良方針に沿って改良増殖を進めてきた成果を酪農家及び関係者に広く示すとともに、今後の改良の方向を示すことを目的として開催されています。

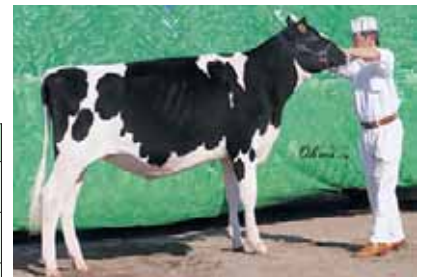
審査は社団法人家畜改良事業団十勝種雄牛センター場長の高橋茂氏を審査員に迎え進行され、入賞牛には共進会会長賞を始め、農林水産大臣賞など多数の褒賞が交付されました。本県関係の入賞結果は次のとおりです。



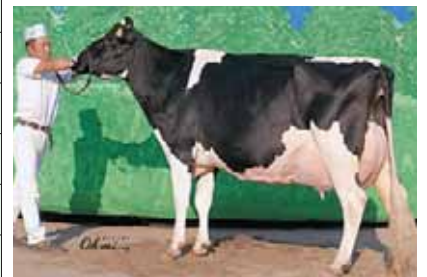
第14回関東地区ホルスタイン共進会栃木県出品牛入賞結果

開催期日：平成18年11月15日～16日
開催場所：千葉県千葉市「千葉県家畜市場」

区分	部	出品者	名	号	褒賞区分
未經産牛	1部	那須塩原市 高塩久	ハーネスファーム レッド	ルル	名譽賞 優等1席
	"	那須町 伊藤高行	イトリフィック アストロミカル	シロベ	1等5席
	2部	那須塩原市 大沼辰徳	レインボーファーム セブテンパー	ストーム ロクシー	1等3席
	"	那須塩原市 小針勤	コバリ モデル	メクシルド デボラ	1等2席
	3部	矢板市 山本訓	マウンテンビュー マジック	エアロ ハム	準名譽賞 優等1席
	"	大田市 狸塚信夫	メーランド スカイシルク	ハーゲン	1等4席
	4部	那須塩原市 大沼辰徳	レインボ-ファーム	ブライトネス カイト パーク	優等2席
	"	那須塩原市 高塩久	ハーネスファーム	スカイサイド ヒロ マーフィー ET	1等2席
経産牛	5部	那須烏山市 菊池善也	クイイチ コラ	レデューク チャンピオン	優等3席
	"	矢板市 和田和氣	PW シルキー	ステイシー	優等2席
	6部	市貝町 梶村健介	コージー	ロング ロイアーロン	1等2席
	"	那須町 伊藤高行	イトリフィック	コムスター ジャステイン	1等4席
	7部	那須塩原市 眞嶋大輔	スノーライト R	アイーン ET	優等3席
	"	那須塩原市 人見泰弘	グリーンエパー	ウオーク ジャーナリスト	優等2席
	8部	那須塩原市 小針勤	コバリ クララ	イブ デリア	名譽賞 優等1席(BU)
	"	那須烏山市 中山真介	パインツリー	ネリー ダンテ	1等1席



名譽賞 1部 高塩 久氏



名譽賞 8部 小針 勤氏



準名譽賞 3部 山本 訓氏



東西南北

那須高原支所

十一月十六日、那須町役場にて、折り牛パネルの贈呈を行いました。この寄贈品は、那須地域で行ったキャンペーン（牛乳試飲）にて、女性会のメンバーと集まってきた子供たちの手によって作られた折り牛を一頭の牛の形に張り合わせ、パネルとして製作したものです。県内でも有数の生乳生産量を誇る酪農地域である那須町のアピールを兼ねて、牛乳消費拡大キャンペーンの一環としてこのパネルを町長に手渡しました。



寄贈者は、那須地域酪農組合長 伊藤謙二さん（写真中央）、女性会 那須支部長 磯由起子さん（写真左）、酪農とちぎ 根本および池本の四名です。

町長との座談の中で、現代の日本人が牛乳をあまり飲まなくなつた流れには、豊かな食生活への変化が原因と考えられる。これからは牛乳は完全栄養食品だという認識のもとに、飲むことを習慣づけることが重要であり、その実行が消費拡大につながるのでは。」というお話がありました。

パネルは、那須町役場一階ロビ―右奥の談話室に来年三月まで飾っていただけることになりました。できるだけ多くの人の目に触れ、牛乳や牛に親しみをもちつ人もっと増え、消費拡大に繋がればと願っております。

宇都宮支所

宇都宮市酪農組合 農林祭参加！



宇都宮市酪農組合 農林祭に、今年も牧場がやってきました。平成十八年十一月十八・十九日の二日間に渡り、宇都宮市酪農組合員が中心

となつて、牛乳の試飲・販売を中心とした幅広い内容で参加し、今年度は近隣地域の青年部員の協力もあつて、搾乳体験を復活させることができました。

子供たちは、お母さん牛の大きさに戸惑いながらも近づき、牛の温かさや柔らかさ・おとなしさを感じて、そのうち自分から大きなお腹を触り、だんだんに牛に親しみを覚えていく様子が印象的でした。また、お絵かきコーナー、仔牛とのふれあひを通じ、多くの親子連れに酪農の魅力に触れていただくことができました。

農林祭を通じ、酪農が地元産業の一つだとアピールする良い機会となり、お子さん達には幼き日の思い出の一場面として心に残ってくれたら嬉しいと感じました。

栃木県南支所

真岡市乳用牛共励会

十一月二十三日の勤労感謝の日、今年も、真岡市酪農組合・はが野農協酪農部会（共に上野清組合長）が、産業祭の名物となった乳用牛共励会や子牛の体重当てに牛を出品し、話題を集めました。



共励会は、真岡市の酪農家（現在二十戸）から第一部八頭、第二部六頭が出品され、酪農とちぎ・栃酪・芳賀農業振興事務所

所による厳正なる審査で順位を決定し、講評を頂きました。審査の結果、第一部優等賞に柳憲一氏、第二部優等賞に高橋平治氏が受賞されました。会場は、乾草を持つて牛の口に差し出ししたり、体重当ての子牛と一緒に写真を撮ったりする親子の姿もあり、大勢の人で賑わっていました。また、産業祭初の試みとして、予め広報で知らせた「県産牛乳1ℓパック十枚で景品と交換」を行い、用意した百個の景品は、すぐに交換終了となりました。

牛乳の試飲では、子供の成長期に牛乳を、お年寄りにカルシウム等のPRをし、五百杯の試飲も早い時間に終了するなど、酪農に対する理解を深めることが出来ました。

市乳販売課

乳製品消費拡大のご協力について

昨年に引続きバター・チーズでの乳製品消費拡大運動を実施する事になりました。中酪から昨年増での協力要請と、関東生乳販連から全会員に対し、管内の生乳生産枠確保等の観点から、関東産チーズの購入が推奨されましたが、関東産チーズの製造は小規模であり、販売量に限度があることから、対象品目につきましては国内産のチーズ及びバターを中心に、目標数量の達成を目指す事と致しました。本組合での個人別目標数量につきましては、前年同様に乳量別ラックを細分化し負担軽減を考慮し設定致しました。組合員の皆様には、ご負担になる事とは存じますが、更なる消費拡大につなげて参るため、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。また、役員におきましても個別に目標数量を設け、消費拡大を図りますので、組合一体での目標数量達成にご協力をお願い申し上げます。

栃木県産牛乳キャンペーン実施中!

栃木県牛乳普及協会・栃木県酪農協会主催による「牛乳飲んでいきいき健康キャンペーン」が昨年度に引き続き、十一月から始まりました。本組合では、取引先へのキャンペーンチラシ配布をはじめ、十二月上旬からは「那須だいき牛乳」、緑の大地からの贈りもの「那須牛乳」、かましん牛乳の三商品に広告を致します。応募期間は来年一月末日迄であり、不要期においての販売促進及び消費拡大の一助として推進しております。



対象牛乳は、栃木県で生産した原料乳で製造された牛乳です。応募方法は、牛乳パック千ミリリットル三本分の品質表示部分を切り取り（ビンの場合は二百ミリリットル十五本分のキャップ）三千ミリリットル相当分を一口として封書（郵送）でご応募下さい。

封書には住所・氏名・年齢・電話番号・一等賞、二等賞の希望商品記号（AまたはB）、及びメールアドレスをお持ちの場合はアドレスも明記して下さい。（封筒一通につき一口）

- A 一等賞の希望商品（毎月五十名様）
- A 乳製品詰め合わせ
- B 図書カード五千円分
- 二等賞の希望商品（毎月百名様）
- A 乳製品詰め合わせ
- B 図書カード三千円分

その他、三等賞は毎月千名様に図書カード千円分が当たります。

【あて先】〒三三二〇 八六八六 宇都宮市昭和一 八 一一「栃木県産牛乳キャンペーン」事務局係
【締め切り】平成十九年一月三十一日当日消印有効

抽選は十二月末までの申込み分と一月末までの申込み分を二回に分けて行います。発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

【お問い合わせ】栃木県牛乳普及協会

電話〇二八 六六四 三六一一
または栃木県酪農協会

電話〇二八 六六四 三五九
ぜひ、お知合いの方にもご紹介下さい。

さい。

小学生及び保護者対象に 食育講演会を開催

十一月十日（金）宇都宮市立明保小学校において、牛乳消費拡大PRの一環として、栃木県農業振興公社の杉田静枝先生を講師に「我が家でも食育にチャレンジしようよ」と題し、講演会を開催しました。講演では、朝食の必要性やバランスの良い食事を探る大切さ等が説明され、特に保護者の方からは、分かりやすく説明して頂き、勉強になりましたと大好評でした。講演会終了後は、小学生による手作りバター体験を行い、盛会のなか終了しました。



部課だより

生乳販売課

生乳生産量

十月度前年比九八・五%

十月度の生乳生産量は、一八、一三六トン（前年比九八・五%）の生乳生産量となりました。

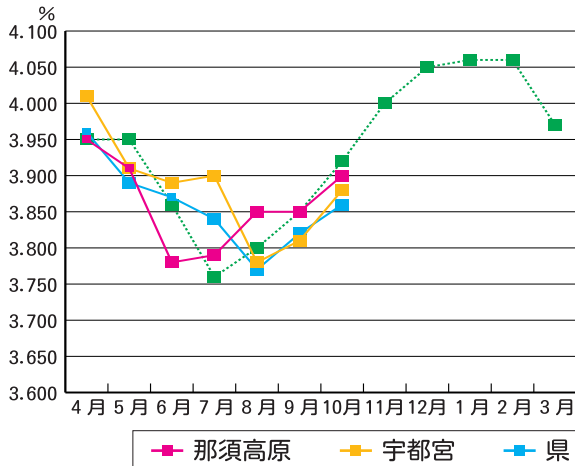
十月度の支所別生乳生産量をみると、那須高原支所においては前年比九七・七%、宇都宮支所一〇〇・三%、県南支所九九・二%の実績となりました。

十月度、関東においては前年比九八・三%で、累計では九九・一%となりました。

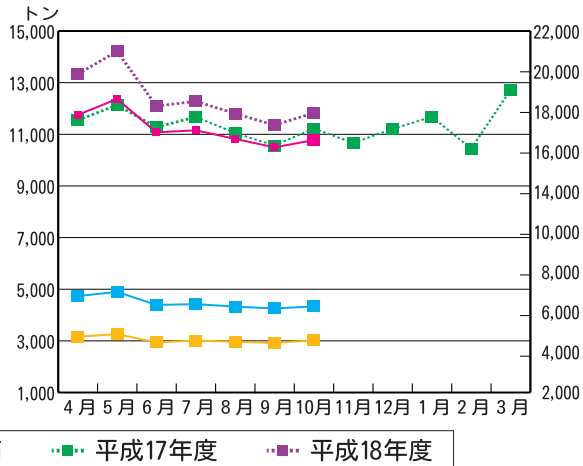
関東の十月の特定乳製品向けについては、二・二三%（前年三七・八%）と前年より加工率は減少しましたが、飲用牛乳向けは三八%減と飲用需要の低迷が続いております。また、はっ酵乳向けについては前年比一一九・七%となっております。

全国が生乳生産量においても十

◆ 脂肪率の推移

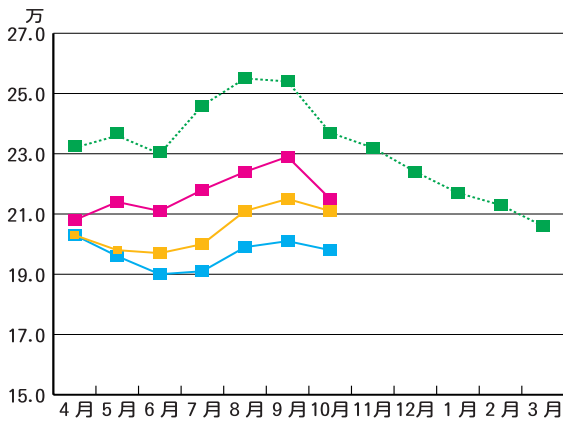


◆ 乳量の推移

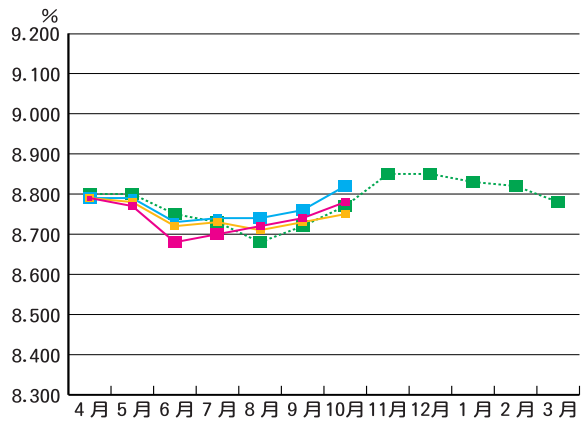


月度（前年比）九六・一%、累計では九七・七%となっております。組合における十月度乳質成績は、

◆ 体細胞数の推移



◆ 無脂乳固形分率の推移



脂肪率が三・八九%、無脂固形分率は八・七八%でほぼ前年同様となりました。細胞数については十

酪農部

女性会全体研修会

『食育』を学ぶ

平成十八年度女性会

全体研修会で牛乳を見直す

十一月二十一日、高根沢町民ホールにて、宇都宮市内にあるフレンチ・レストラン「オーベルジュ」のオーナーシェフ音羽和紀さんを講師に招き、

「酪農女性のための食育」をテーマに、牛乳の栄養価



を再認識し、消費拡大につなげようという初めての試みで、食を通じたコミュニケーションのあり方を学びました。

音羽シェフは自らの子育てを振り返り、食卓と一緒に囲み美味し

月においても前年を下回る二一・〇万（前年二三・七万）の好成绩となりました。

十月迄の乳量及び乳質成績は上記のとおりです。



いものを食べることで、親も子も気持ち豊かになり、自然と会話が弾み信頼間の醸成につながると話しました。また、フランスなど十年間の料理修行中、どこに行っても自分の住む地域の食や自然、文化に誇りを持ち、それを親から子、孫へと伝えて行き、地域にあつてはプレス鶏やパルメザンチーズなど地産の伝統をかたく守る。など欧州の人々の価値観を紹介しました。さらに、特別品にこだわる人は少ないながらも着実に増えており、オリジナリティーを前面に打ち出すことが大切である。」と強調しました。会場に集った百名以上の会員は、食の教育の大切さと地場産物への誇りやこだわりを再認識し、オリジナリティーを明確にすることが、消費の拡大につながると感じました。

女性会活動報告

今回は芳賀町の女性会より、牛乳を使用した料理レシピをご紹介致します。

私たち芳賀町の女性会では、町民祭などの機会に合わせ、牛乳の素晴らしさを伝えると共に、牛乳を使用した料理を模擬店で配り、牛乳の消費拡大を進めております。先日の町民祭では、蒸かしたてのさつま芋とレーズン入りの蒸しパンは大変好評で、牛乳入りシチューは、牛乳のコクがあり、体も温まると好評でした。私達はこのような活動を通じ、牛乳は飲むだけではなく、食べることもアピールして行きたいと思えます。

クリームシチュー

材料（8人分）

鶏肉又は豚肉（300g）・玉葱450g（中2個）人参150g（中1本）ジャガイモ300g（中2個）牛乳600ml（3カップ）シチューの素 適量
・油大さじ2杯・水600cc（3カップ）塩・胡椒（適量）

作り方

厚手の鍋にサラダ油を熱し一口大に切った肉、野菜をこがさないように炒める。水を加え沸騰したらあくを取り、材料がやわらかくなるまで弱火〜中火で煮込む。

いったん火を止め、シチューの素を割り入れ、よく溶かし再び弱火で煮込む。仕上げに牛乳を加え軽く煮込む。プロッコリーなどがあれば彩りが良いです。

さつま芋とレーズンの蒸しパン

材料（8個分）

蒸しパンの素200g・牛乳100cc・サツマイモ60g・レーズン40g

作り方

さつま芋は皮付きのまま7mm角に切り、水にさらしておく。ボウルに蒸しパンの素と牛乳を合わせ、水気を切ったサツマイモとレーズンを加える。これをアルミカップに流し入れ、蒸し器で十〜十五分間蒸せば完成です。



11月ホクレン初妊牛市場成績

〔単位：頭、千円（税込）〕

市場名	開催日	成立頭数	平均価格	~350	351~400	401~450	451~500	501~550	551以上
釧路	11月1日	300	433	20	46	125	92	6	11
根室	11月2日	404	409	47	137	143	55	10	12
十勝	11月8日	478	406	78	164	144	53	17	22
苫小牧	11月10日	98	417	13	21	41	17	4	2
豊富	11月16日	457	418	35	123	218	57	10	14
北見	11月22日	436	438	36	76	120	163	20	21
根室	11月23日	416	449	5	57	171	141	21	21
十勝	11月27日	527	434	31	122	197	121	18	38
合計		3,116	426	265	746	1,159	699	106	141
前月		2,612	397	495	930	823	242	63	59
前年同月		3,185	471	59	249	758	1,156	641	184

家畜市場成績

平成18年11月

〔単位：円（税込）〕

市場名	種別	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均
西那須野	三十日 ホルス雄	169	-	65,100	1,050	41,332
	F1雄	80	-	211,050	95,550	161,254
	F1雌	87	-	120,750	31,500	93,402
館林	二十七日 ホルス雄	10	74	69,000	21,000	48,700
	F1雄	23	88	226,000	142,000	182,261
	F1雌	20	87	146,000	80,000	115,400



理事会だより

十月度理事会

報告事項

- (一) 組合員加入について
- (二) 資金貸付について
- (三) 十月分生産者支払乳価について
- (四) 動態調査の結果報告について
- (五) 栃木県南支所入札結果について

協議事項

- (一) 九月度及び上半期事業実績について
- (二) 生乳受託規定の改正について
- (三) 組合員との生乳受託契約書の改正について
- (四) 諸規定の改正について
- (五) 利用済みとなつたラップフイルム・乾草梱包用ポリバンの斡旋販売について

十一月度理事会

報告事項

- (一) 平成十八年度上半期定期監査報告について
- (二) 資金貸付について
- (三) 県酪連の財務状況について
- (四) 販売委員会報告について

協議事項

- (一) 十月度事業実績について
- (二) 平成十八年度生産者支払乳価及び十一月分支払乳価について
- (三) 平成十八年生乳計画生産下期特別対策(案)について
- (四) 平成十九年度生乳計画生産基本方針(案)について
- (五) 理事との契約について
- (六) 年末手当支給について

栃木県南支所起工式 来年三月の完成を目指す

栃木県南支所建設起工式を十一月十四日、組合役職員と施工業者合わせて約四十名が出席し真岡市第五工業団地で行いました。

神事は大前神社柳田宮司による安全祈願祭が執り行われ、参加者が見守るなか、前田組合長の鍬入れ、施工代表者等が地鎮の儀を、



続いて玉串奉奠などが行われ、工事の無事完成を祈り、いよいよ新設工事が明年三月完成を目指し始動しました。

合併当初からの組合運営合理化計画として、栃木県南支所と真岡事業所、さらに栃木事業所を統合し、施設の合理化を図るために策定し、既に統合した県北地域に次いで行われます。県南地域合理化検討協議会、建設委員会、理事会において慎重な協議を重ね、この度着工の運びとなりました。

施設概要

真岡市第五工業団地
三十街区符号 (仮称)
鉄筋平屋階建 五八〇㎡
事務所・多目的会議室
設計管理 全農とちぎ
施工業者 松本建設(株)

豪州とのFTAに反対 全国酪農民緊急集会

日本酪農政治連盟による全国酪農民緊急集会が十一月二十八日自由民主党本部(東京都永田町)にて開催されました。

今集会は、豪州とのFTA(自由貿易協定)交渉に反対、酪農産

品は交渉対象から除外を要請する緊急集会です。もし豪州とFTAが締結されてしまうと、豪州の農産物が廉価で入り込んでくることは必至で、日本の酪農に大打撃を与え、ひいては日本の自給率の更なる低下が見込まれます。

当組合からは理事を始め十五名が参加し、FTA交渉に反対要請をするため、早朝より自由民主党玄関前で国会議員に要請行動を行いました(写真)。その後国井正幸農林水産副大臣を初め、地元議員に面会を求め、要請行動を行いました。国井副大臣は「私もがんばるから皆さんもがんばって下さい。」と力強く仰ってくれました。次に自由民主党本部八階ホールにて集会を行いました。主催者の挨拶に始まり、多数の来賓議員から激励の言葉が頂きました。次に現状報告があり、要請について協議され「がんばろう三唱」の後散会しました。



品は交渉対象から除外を要請する緊急集会です。もし豪州とFTAが締結されてしまうと、豪州の農産物が廉価で入り込んでくることは必至で、日本の酪農に大打撃を与え、ひいては日本の自給率の更なる低下が見込まれます。